



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
 〈重点目標〉高い目標を持ち、ねばり強く努力する生徒 **～夢の実現～**

原町三中だより

平成31年2月12日(火)
 第12号
 発行責任者
 校長 熊澤 正人
 電話 22-3802

新入生オリエンテーション が開催されました。

中学校生活を充実させるために入学までにやりたい三つのこと

1月19日(土)に新入生オリエンテーションが行われました。少し緊張した面持ちで図書室に集まった各小学校の6年生と保護者の皆さん。

校長あいさつの中で、6年生の皆さんが中学生になって十分力を発揮できるように、これから4月までの間にやってほしい三つのことを話しました。

一つ目は、規則正しい生活をすることです。起きる時間、寝る時間、テレビを見る時間、ゲームやネットをする時間、家庭学習の時間などを決めてきちんと守れるようにします。これは、自分の力を最大限に発揮するための基盤となります。

二つ目は、小学校を卒業する人間としてふさわしい毎日のお手伝いをすることです。これは一個の人間としての生きる力になります。

三つ目は、本を1ヶ月に1冊以上読むことです。知識＝理解力、多くの言葉や知識がある人には理解力が備わります。

すでに、三つともできている人はこれからも続けてください。まだ、できていないところがあるなどという人はおうちの人と相談して是非、今日からやってみてください。

「安心して三中に来てください！」

1年生が中学校生活を紹介

中学1年生による新入生のための中学校生活の紹介もありました。昨年は緊張してオリエンテーションに参加した1年生もこの一年で心も体もずいぶん成長しました。今では後輩ができるのを楽しみに待っています。そして、頼れる先輩、中学生はこういううものだと胸を張って後輩に見せられる先輩になれるよう励んでいます。

【自作の資料で説明する1年生】



子どもの意欲を引き出す三つのお願い

中学時代は子どもが不安や悩みを抱える時期でもあります。そこで保護者の皆さんに、子どもの意欲を引き出すための三つのお願いを話しました。

一つ目は「話を聞く」

思春期に入りあまり話をしなくなる中学生ですが、誰かに話を聞いてもらいたい気持ちはもっています。子どもが話し始めたら最後までじっくり聞いてあげましょう。「自分勝手なことを言っているな」と思っても途中で遮らずに最後まで聴くことがポイントです。

二つ目は「明るく前向きに」

時には厳しくしかることもあるでしょう。人生の先輩として大いに導いてあげましょう。しかった後はいつまでも引きずらないで、気持ちを切り替え、明るく前向きな雰囲気でごください。

三つ目は「認め励ます」

他人との比較ではなく、その子なりの良いところを認め励ましてください。人は認められることで自信をもって前に進めます。

